「DeSC レセプトデータベースを用いた糖尿病診療における血糖管理デバイス・治療法の使用実態および医療制度が臨床アウトカムに与える影響に関する後方視的観察研究」に関するお知らせ

このたび、DeSC ヘルスケア株式会社で収集された情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

研究の概要について

１．研究の対象となる方

DeSC データベースに登録された糖尿病患者さん

２．研究の目的

本研究では、健康保険などの医療データを集めた大規模なデータベースを使って、血糖値を測定・管理する機器や治療薬などが、実際にどのように使われているかを調べます。また、それらの使用が健康状態や治療結果にどのような影響を与えるか、医療費や保険制度によって違いがあるかについても検討します。これらの研究を通じて、患者さんに適した血糖管理の方法や、よりよい医療制度を考えるための基礎となる情報を得ることを目指します。

３．研究期間

病院長の許可後～2031 年 3 月 31 日

４．利用または提供の開始予定日

2026 年 11 月 15 日

研究に用いる試料・情報について

１．試料・情報の内容

DeSC データベースに登録されている患者さんの病歴、治療歴、検査データ、薬剤情報。

※本研究では、すでに個人が特定できないように加工された医療情報を使用します。そのため、研究者が新たに個人を特定できる情報を集めたり、取得したりすることはありません。また、氏名などを含まない情報のみを使用し、データは暗号化して保管し、利用できる人を研究関係者に限定することで、情報が漏れるリスクを減らしています。

２．試料・情報の取得方法

DeSC データベースで収集された情報についてすでにある医療情報のデータベースを利用して、過去の診療に関する情報を調べます。そのため、研究のために患者さんに新たに来院していただいたり、検査を受けていただいたりすることはありません。試料（血液・組織等）は用いません。

３．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

■埼玉医科大学総合医療センター研究実施者

役割：共同研究機関間の本研究実施に要するプロジェクトマネジメント及びデータ収集環境の提供、

構築並びにデータ収集時の運用
内分泌・糖尿病内科 教授 泉田　欣彦
内分泌・糖尿病内科 助教 大村　卓士（研究代表者）
内分泌・糖尿病内科 助教 森脇　優人
内分泌・糖尿病内科 助教 山田　修平

■神戸大学研究責任者
役割：研究デザイン監修
神戸大学大学院医学系研究科　糖尿病・内分泌内科学部門・准教授　廣田 勇士

■京都大学研究責任者
役割：統計解析責任者
京都大学大学院医学研究科　健康増進・行動学分野・特定助教　池洲　諒

４．試料・情報の管理責任者
＜提供元機関＞
【埼玉医科大学総合医療センター】病院長　別宮 好文
＜提供先機関＞
【神戸大学医学部付属病院】病院長　黒田 良祐
【京都大学医学部付属病院】病院長　髙折 晃史
５．試料・情報の提供方法等について
＜試料＞本研究では試料は取り扱いません。
＜情報＞パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。なお、個人が同定される遺伝情報や診療情報は取り扱いません。

お問い合わせについて

埼玉医科大学総合医療センター　内分泌・糖尿病内科　大村卓士
住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地
電話：049-228-3570（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：DeSC レセプトデータベースを用いた糖尿病診療における血糖管理デバイス・治療法の使用実態および医療制度が臨床アウトカムに与える影響に関する後方視的観察研究
○研究代表者：埼玉医科大学総合医療センター　内分泌・糖尿病内科　大村卓士